



摩崖仏

崖の下部に石仏が刻まれ、両側に五輪塔が彫られています。右側の供養塔には正保四年（1647）妙香禪尼、十二月二十六日と縦書き三行の刻字があります。「この土地の持ち主の妻が、髪の毛が抜けるので占いをしてもらったところ、岩の下に仏さまが埋まっておられるから、早く掘り出せとのことで、掘ってみたら石仏が出てきた。夫婦は信心して花香をささげたところ、妻の髪は元通りになった」という話が伝えられています。

十三仏

松ヶ崎小学校の上方山裾の小さなお堂に、十三体の木仏が祀られています。故人の冥福を祈るため、初七日から三十三回忌までの年忌に仏像を造って供養したものです。

不動明王（初七日）、釈迦如来（二七日）、文殊菩薩（三七日）、普賢菩薩（四七日）、地藏菩薩（五七日）、弥勒菩薩（六七日）、薬師如来（七七日）、観音菩薩（百ヶ日）、勢至菩薩（一周忌）、阿弥陀如来（三回忌）、阿閼如来（七回忌）大日如来（十三回忌）、虚空蔵菩薩（三十三回忌）の十三体です。



出典

発行/令和2年3月13日（金）

発行元/松ヶ崎地区公民館（鹿児島県垂水市牛根麓 1139 番地 9 / TEL 0994-36-2882）

印刷・製本/有限会社垂水中央印刷

注意/写真、イラスト等の無断転載を禁じます。

参考・引用文献/垂水市史上巻（垂水市）、垂水資料集・八（垂水市教育委員会）、
歴史探訪 伝えよう松ヶ崎の心（DVD / 松ヶ崎郷土史研究会）

※作成にあたり、多くの地区住民の方々にご協力いただきました。



神子ひつ神社

古記録に永享年間（1429～1441）の棟札があるとありますが、現存していません。以前上ノ原にあった上子密津神社（現在、深港の飯牟礼神社に合祀）が男の神であるのに対し、神子ひつ神社は女の神だといわれています。

安永の頃にあった洪水で石の鳥居は流され、仁王像も上体がなくなったとされています。平成二十八年（2016）には、地元の有志が社を建て替えました。